

授業改善推進プラン(指導方法の課題分析と具体的な改善計画)

体育	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展的指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことに興味をもって、楽しんで夢中になる子が多い。 ・うんてい、登り棒、鉄棒は苦手な子が多い。 ・自分の動きのふり返りや励ましはまだうまくできていない。 ・ゲームのルールが理解できない児童がいるために全員でゲームを楽しむにいたっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びを経験させることで、運動感覚の基礎を育てるようにする ・自分だけでなく、友だちの動きがよく分かるように指導の展開を工夫し、動きの良さに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を身に付ける活動を学習の中に計画的に織り込む。 ・体育の時間以外にも、休み時間等に友達と誘い合って外遊びをするよう意識づけたり、機会を設けたりする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・思い切り体を動かすことに興味をもって夢中になる子が多い。 ・走・跳・投のいろいろな動きを経験していない子が多い。 ・集団活動になかなか入れない児童がおり、個別指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びを経験させることで、運動感覚の基礎を育てる。 ・自分だけでなく友達の動きなどもわかるように、記入項目を工夫した学習カードを取り入れて計画的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス遊びなど体育の時間以外にも、休み時間などに友達と誘い合って外遊びをするよう意識づけたり、機会を設けたりする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことには関心が高く、楽しめる子が多い。反面、苦手なものには挑戦しようとしないう子も何人かいる。 ・集団活動になかなか入れない児童がおり、個別指導が必要である。 ・自分に合っためあてをもって運動しようとする子が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能ポイントカードなどを用いて、スモールステップで運動に取り組められるようにする。 ・めあてを書いた学習カードを紹介したり、運動の中で、互いに意見交換する場を設けたりして、互いに言葉をかけ合って学び合えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し声をかけて、休み時間や放課後の遊びの中など、日常的に運動することへの意欲を高める。 ・技能ポイント等がかいてある資料を準備して視覚から理解させる。 ・発表会などを設け、習得できたことや伸びを認め合う機会をもち、より一層の意欲の向上を図る。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心が高く、楽しく運動する児童が多い。チームワークを高める指導も必要である。 ・適切なめあてを持って学習できない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワークを意識させるゲームを取り入れ、意見交換し合う中で学び合い、関心や意欲が出てくるようにする。 ・個人や集団でのめあてや練習方法、作戦などを意識できるように学習カードを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習によって日常的に運動することへの意欲を高める。 ・発表会を設け、学習したことを確かめ、認め合う機会を持つ。 ・技能ポイント等がかいてある資料を準備して視覚から理解させる。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心が高く、楽しく運動する児童が多い。 ・めあてを持って学習に取り組むことができない児童もいる。 ・チームワークを高めたり、教えあったりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使い、めあて、取り組みの計画、学習のふり返りといった学習の流れに沿ってまとめることによって、学び方を確かなものにする。 ・ペア学習、トリオ学習などを積極的に取り入れ、学習の振り返りについてもペアやトリオを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育学習の日常化を推進する。 ・副読本やインターネットなどから得た資料を活用する力を伸ばす。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心が高い。 ・適切なめあてをもって学習に取り組むことが身につけていない。また、自分のめあてに適切な練習方法を選ぶ力がついていない児童もいる。 ・友達同士の教え合い、励まし合いに対する関心が薄い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに、めあて、取り組みの計画、学習のふり返りといった学習の流れに沿ってまとめることによって、学び方を確かなものにする。 ・ペア学習、トリオ学習などを積極的に取り入れ、学習の振り返りについてもペアやトリオを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習によって日常的に運動することへの意欲を高める。 ・副読本やインターネットなどの資料を活用し、掲示資料の工夫をし、自ら視覚的に学べるようにする。